

キッズみんなの日記

10月号

しい気持ちになります。せかせかと過ごしていた日々や、さっきまで腹がたっていたことも一瞬忘れま

朝夕、日ごとに涼しくなり、すっかり秋めいてきた今日この頃ですが、体調など崩してはいませんか。秋になると風が爽やかで香りも夏とは違ってきます。そろそろ、キンモクセイの香りもしてくる頃ですね。夜の虫の音も風情があり、四季のある日本に生まれて幸せだとつくづく思います。季節の移り変わりには、子どもであるみなさんのほうがはるかに敏感だと思います。先日こんなことがありました。

外へ出たとき、一年生の息子が私の手を引っ張り、「空を見て。ヨーグルトみたいな雲があるよ。」と。見上げると、そこには秋晴れの空にきれいな「いわし雲」がありました。「いわし雲って言うの。」と私が教えてやると、納得顔の息子でしたが、数日後、「見て、またヨーグルトの雲だよ。」何故、ヨーグルトなのかは謎ですが、おそらく、行儀の悪い息子はヨーグルトをぐちゃぐちゃ混ぜて食べるので、その時の質感に似ているのかもしれない。子どもらしい発想なので、あえて正しい知識を入れることはあきらめました。

優秀作品紹介

★日常の体験を生き生きと★

友だちとしゅう字

今日、お友だちと公民館のしゅう字にいきました。まちあわせていっしょにいったので、せきもとなりでした。書いた字は、「なす」と「つぼう」でした。「なす」は書いたことがあるけど「つぼう」は、はじめてでむずかしかったから、先生といっしょに書きました。と中で友だちの方を見てみると、友だちのぼうがうまかったです。

名前の上に小二と書いていいのかわからなかったので先生に聞きに行ったら、「ここに小二って書ける？」と、聞かれました。書いてから、もう

一ど見せに行くというまい。」と言われました。うれしかったです。またつきもがんばろうと思いました。(小二・YIさん)

初めて挑戦する字は難しいですよ先生に教わりながら一生懸命書くちゃんの姿が目につかびます。お友だちの出来の良さを気にしてみたり、最後は先生の誉め言葉に喜んだり、奮起したりと気持ちの変化も生き生きと表現できました。

なしのしゅうかく 学校でなしのしゅうかくをしにいきました。前になしの花ふんをつけにいつて、みが大きくなつたので、みんなどどりに行きました。「とったなしは、れいぞうこで三十分から一時間ひやすとおいしいよ。」と、なしんのおじさんが言いました。うちにもつてかえって、ひやしてから食べたら、あまくてジュシーでおいしかったです。(小三・MI君)

君の梨の味覚の伝え方があまりに上手で、冷えたみずみずしい梨の甘さが口に広がるようです。自分たちで収穫した梨だけに美味しさも格別でしょうね。梨園のおじさんのセリフも文章を生き生きとさせています。

ひこうき雲 今日、ひこうき雲を車の中で見ました。空には、雲がなくてひこうきが通りました。ひこうきは、速かったです。

ひこうきの後ろに雲があつて、それがひこうき雲でした。すごく細くて、すごいと思いました。車の中でひこうき雲が見られてうれしかったです。(小三・HH君)

雲一つ無い青空に飛行機雲を見つけたH君。青い画用紙に白いクレヨンで線をひいたような飛行機雲。良いことがありそうな予感がしますよね。日常のさりげない出来事を上手に題材に選びました!

★★印象的な場面を切り取り上手に書き広げる★★

運動会

ぼくは、リレーの選手だったから係の仕事もおうえんだんもできませんでした。ぼくは、おうえんだんになりたかったです。

まず、ぼくたちのやる種目はぼう引きです。ぼう引きでは、ぼく一人で一本とりました。しかし、ぼう引きではまけました。つぎに、しょうがい物競争がありました。それでは、三位でした。つぎにリレーがありました。三年生は、半周で、四年生は一周でした。ぼくは、三位でバトンが回ってきました。一人ぬかしました。あともう少しで、もう一人ぬかせようでした。リレーの結果は二位でした。

おべんとうを食べました。おばあちゃんたちが作ってくれました。とてもおいしかったです。

つぎに、エイサーとじつとびどーい、という沖繩の曲でした。すごいつかれました。結果は、六百九十一で白が勝ちました。ぼくはあかだったのでまけました。(小四・MM君)

たくさんある運動会のプログラムを上手にまとめていますね。M君が一番印象に残った「リレー」は、状況をより細かく説明して文章に上手に強弱をつけています。あと少しで二人抜きM君、大活躍でしたね。お疲れ様でした♪

ソーラン節

五時間目にソーラン節の練習がありました。長ばんてんを着て、ハチマキをして、一生けん命おどりました。二週間の練習を積み重ねて、やっとふり付けをおぼえたので、先生に、

「○○、その調子でがんばろう。」

と言われた時は、

「はい、がんばります。」

と自信を持って言いました。

特に私が一番好きなのは、

ポーズは、最後にみんなで、

「ヤーア。」

と言う所です。でも、こしを低くしなければいけないので、とってもむずかしいです。もっと練習してうまくなりたいです。(小五・HMさん)

長ばんてんに身を包み、ハチマキを締め気合いの入ったMちゃん。振り付けを覚えるのに苦労したこと、今は自信を持って楽しんでることを、大好きなポーズのこと。会話文やかけ声を効果的に使



ソーラン節への熱い思いを上手に伝えていきますー運動会本番でも大成功だったでしょうね!

運動会

九月十七日に、秋季大運動会がありました。

まず、「六年生の百メートル走」です。第三位でした。次に、「関ヶ原の戦い」(きば戦)、練習のほうがかうまくってしまいました。

その次に、「組体操」です。とってもうまくいきました。特に、「三段タワー」がうまくなりました。

最後に、「高学年、紅白対こころレ」です。いつもより、ドキドキしてました。けれど、速く走りました。一位は、私の組、白の青です。

小学校最後の運動会、私の組、白組が勝つてとてもうれしかったです。(小六・MKさん)

今は女の子も組体操や騎馬戦に参加するので、格好いいですね。Kちゃんが成功させた三段タワーなど、高いところの苦手な私は、想像するだけで震えてしまいます。「組体操」と「リレー」にスポットを当て、スッキリと文章をまとめられています。

小学校最後の組体操 今日、小学校最後の運動会でした。

最後の運動会で一番きん張り、楽しかったのは、組体操です。今年放射能のえいきょうで、ふつうの組体操とは少し変わった組体操をしました。手足は、はだしにならずくつをはき、手

には軍手をしました。それでも、とても楽しかったです。

特にきんちょうした技は、ピラミッドです。私は、ピラミッドが一番上だったので、すこくドキドキしながら成功させました。

この小学校最後の運動会は、一生思い出に残ると思います。私は赤組で負けてしまったけれど、それも良い思い出になりました。

(小六・SYさん)

組体操の大技ピラミッド。しかも、最上段となれば、Yちゃんが責任や恐怖を感じ緊張もピークになるのも当然ですね。成功おめでとう！総合点では負けてしまったけれど、最後の一文がすがすがしい気持ちにさせてくれる素敵な日記でした。段落構成もバッチリです。

観察・発見したことを

詳細に記録する

理科の実験

今日、理科の実験をしました。何をしたらかというと、水を紅色にして花を植えるかどうかというものです。



最初、私はどうなるんだろうと思いました。でも、二日たったらわかったのです。二日後に見てみると、花がなんと赤色になっていました。私はおどろきました。でも中身を見るとわかりました。「くき」や「えだ」の中が赤くなっていたのです。私は、その理由がすぐにわかりました。根っこが水を吸い上げるからです。だから、根っこも赤色になっていました。

(小六・SNさん)

Nちゃんが発見する喜びに触れることで、読み手にもその楽しさが伝わってきます。学生時代、理科の実験にワクワクした気持ちを思い出しました。植物の茎や枝、根まで観察し、発見したことを誰にでもわかりやすく詳細に説明しているところは見習いたいですね。

●読書の秋です。伊藤先生選りすぐりのおすすめ本を是非読んでみましょう。梨ゼミ文庫で貸出しも行っています。

伊藤先生のおすすめ本

★低学年★

おおきな おおきな おいも

福音館書店

市村 久子 作 赤羽 末吉 絵

幼稚園の子どもたちが共同で描いたとてつもなく大きなさつまいもをめぐって、子どもたちの空想が無限に広がっていく愉快なお話。

★★中学年★★

23時間57分のひとり旅

くもん出版

さだまさし 作・東 菜奈 絵

ふるさとに帰りたくて、帰りたくてしかたがなかった。ある日気がつくと、ぼくは、列車のなかにいた。家族ってなんだろ?!?すべての子どもたちにむけて歌手、さだまさしが描いた絵本。

★★★高学年★★★

十五少年漂流記

講談社

ジュール・バ 訳 作

少年15人を乗せた船が漂着したのは、無人島。何も無い島のなかで知恵を出し合っの共同生活。対立や助け合う心を描いた冒険小説。